

多機能防災クロック

取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号(品番)をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

(例:SQ○○○、BC○○○、NR○○○など)

クロックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seiko-stc.co.jp>

発売元

セイコータイムクリエーション株式会社

説明書番号 DKR-098S

必ずお守りください 安全上のご注意

警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

<アルカリ電池について>

- 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

<アンテナについて>

雷が鳴りだしたら、アンテナをたたんでください。感電の原因となります。

注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

<製品の設置場所について>

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

<乾電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておく、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 電池は必ず(+)側から入れてください。また、(+)(-)を正しく入れてください。
- 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾拭きしてください。
- 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<防滴について>

本製品は防水仕様(JIS IPX4)に準じた防滴構造です。以下の点を十分注意してください。

- キャップ、フタ類は、確実に閉めてください。
- 水の中につけないでください。
- 雨水など大量の水がかかる所では、使用しないでください。
- 湿気の多い浴室などには長時間放置しないでください。
- スピーカ部分に水が入った場合は逆さまにして水を出してください。
- 水中に落としたり、水がかかった場合には、すぐに乾いた布などで水をふきとってください。

<分解や改造をしない>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

<製品と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

電源について

本製品の電源は、内蔵充電電池、乾電池(別売り)、ACアダプター(別売り)の3つから選べます。内蔵充電電池への充電は、USBで接続、ハンドルを回す、ACアダプター(別売り)を使用の3つの方法があります。なお、初めてご使用になる場合は、必ず内蔵充電電池へ充電を行ってください。

●各機能の持続時間の目安(持続時間は各機能を単独で利用した場合の目安です。)

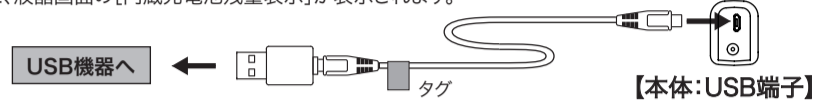
機能	内蔵充電電池	ハンドル	乾電池
時計のみ	約1年	約8日	約3年
ラジオ(音量8)	約12時間	約15分	約35時間
LEDライト	約20時間	約25分	約60時間
非常用ブザー	約3時間	約5分	約9時間
携帯電話/スマートフォン	約20~30%を充電	通話:約2分 待ち受け:約30分	

【条件】
内蔵充電電池…フル充電の状態
ハンドル…1秒間に2回転のペースで約2分間回した状態
乾電池…新品の単3アルカリ乾電池3個を使用

※携帯電話/スマートフォンは2012年現在です。

■内蔵充電電池をUSBで充電する

- 付属の「充電用コード」と「USBコネクタ①」を下図の通りに接続してください。必ずタグ側を「USBコネクタ①」に接続してください。お使いのUSB端子のついた機器に接続してください。自動的に充電が開始されます。充電が開始されると、液晶画面の[内蔵充電電池残量表示]が表示されます。



- [内蔵充電電池残量表示]がフル充電状態で停止すると、充電完了です。
- 充電終了後は「充電用コード」をはずしてください。[内蔵充電電池残量表示]が消えます。
 - ※USB経由で充電時間は約4時間です。(ラジオ、LEDライト、ブザーを使用しない場合)
 - ※内蔵充電電池の性能の低下により、長時間充電をしてもフル充電の表示にならないことがあります。
 - ※ご使用の機器によってはUSBから充電できない場合があります。

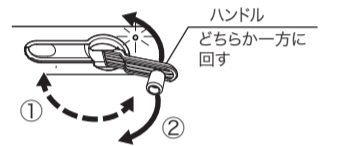


●充電中はラジオ、非常用ブザー、LEDライト、時計をご使用いただけません。

■ハンドルを回して内蔵充電電池を充電する

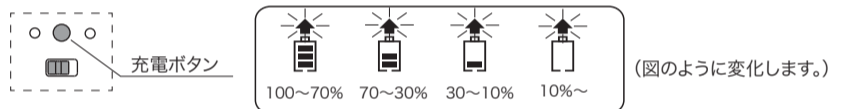
- 「FMアンテナ」を収納状態にして、ハンドルを引き起こしてください。
- ハンドルを回すと内蔵充電電池に充電されます。
 - 片方の手で本体をしっかりと握り、もう片方の手でハンドルのつまみ部分を握ってハンドルを回してください。
 - 回し始めはゆっくりと、そのあと1秒間に2回転のペースでハンドルを回転させてください。

- 発電中は[充電ランプ]が点灯します。
- ハンドルに負荷がかからないように、ハンドルは一方に回してください。無理な力をかけると破損する場合がありますのでご注意ください。
- ハンドルを速く回すと内蔵充電電池の性能が低下する場合があります。
- ハンドルを止めると液晶画面に数秒間、残量が表示されます。ハンドルを止めた直後は、充電量が不十分でも残量が高く表示されることがあります。



■充電電池の電池残量を確認する

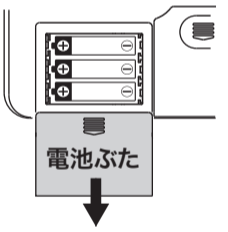
「充電ボタン」を押してください。約2秒後、液晶画面に [内蔵充電電池残量表示] が約12秒間表示されます。



※内蔵充電電池は性質上、長期間ご使用にならないと寿命が短くなったり、使用できなくなることがあります。半年に1回、必ず充電してお使いください。また、充電と放電(ラジオを使用するなどによる消費)を繰り返していくうちに性能が低下します。なお、本製品の充電の使用限度は約500回までです。

■乾電池(別売り)を使う

- 製品の裏面にある「電池ふた」を開けてください。
- 別売りの単3アルカリ乾電池3個を(+)(-)の向きに注意し、正しく入れてください。
 - ※(+)(-)を間違えないでください。
- 「電池ふた」を閉めてください。
 - ※乾電池の残量についての電池切れ予告表示はありません。乾電池でご使用の場合でも、内蔵充電電池の残量が少なくなると、内蔵充電電池の電池切れ予告を表示します。
 - ※乾電池から携帯電話/スマートフォンへの充電はできません。



■ACアダプター(別売り)を使う

- ACアダプターを「DCジャック」にしっかりと差し込んでください。
- ACアダプターは専用のアダプター(品番:ZZ262A)をご使用ください。
- ※乾電池とACアダプターが併用されている場合、ACアダプターが優先されます。
- ※内蔵充電電池を充電することができます。(充電時間は、約5時間です。)

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。
- 乾電池でご使用の場合、乾電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

<液晶パネルについて>

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - ・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などでふいたとき
 - ・指などで液晶パネルを押したとき

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

- また、本製品は業務用ではありません。
- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。(例)屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。
- 寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

充電電池の廃棄について



Ni-MH

本機を廃棄する際、内蔵充電電池のニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部分に絶縁テープなどを貼って、リサイクル協力店へお持ちください。リサイクル及びリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ(www.jbrc.com/)をご参照ください。

【充電電池の外し方】

- (1)製品の裏面にある[電池ふた]を開けてください。(乾電池をご使用の場合は電池を抜いてください。)
 - (2)プラスドライバーで充電電池のふたのネジを外して、ふたを取ってください。
 - (3)充電電池を取り出し、充電電池に接続されているリード線2本をハサミなどで切断してください。
 - (4)各リード線がショートしないように絶縁テープなどで止め、充電電池を絶縁テープなどで覆ってください。
- ※充電電池は完全に消耗した状態を確認してから取り外してください。
- ※ケガのないように十分注意してください。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

受信周波数: AM…531kHz~1710kHz(チューニングステップ9kHz)
FM…76.0MHz~90MHz(チューニングステップ0.05MHz)
電源: 単3アルカリ乾電池(LR6) 3個(別売り) 内蔵充電電池(ニッケル水素電池) 充電用コード(別売り)

定格出力: DC5V 400mA(USB端子)
定格入力: DC5V(最大6V)(USB端子)
LEDライト: 白色LEDライト 1個(0.1W)
入出力端子: イヤホン端子(3.5mmミニジャック) USB micro B型入力/出力端子

時間精度: 平均月差±20秒(気温5℃~35℃で使用した場合)
使用温度範囲: -10℃~50℃(液晶表示部 判読可能温度範囲:0℃~40℃)
アラーム: ポリウムアップ電子音(音量が4段階にアップする電子音)←ラジオの切替、約5分間スヌーズ(ラジオをアラーム音にした場合は使えません) ※スヌーズ中はアラーム音の切り替えができません。

アラーム精度: ±5分
電池切れ予告機能: 充電電池の残量が少なくなると [] を点滅表示(乾電池の電池切れ予告表示はありません)
電池寿命: <乾電池のみで単独使用した場合>

・ラジオ…約35時間(音量目盛り8のとき) ・時計…約3年(時計のみ使用の場合)
・LEDライト…約60時間 ・非常用ブザー…約9時間

<内蔵充電電池のみで単独使用した場合>
・ラジオ…約12時間(音量目盛り8のとき) ・時計…約1年
・LEDライト…約20時間 ・非常用ブザー…約3時間

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元通りの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。

- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

はじめに

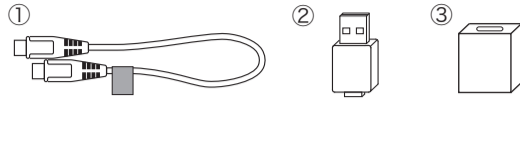
安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。
表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。

※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。

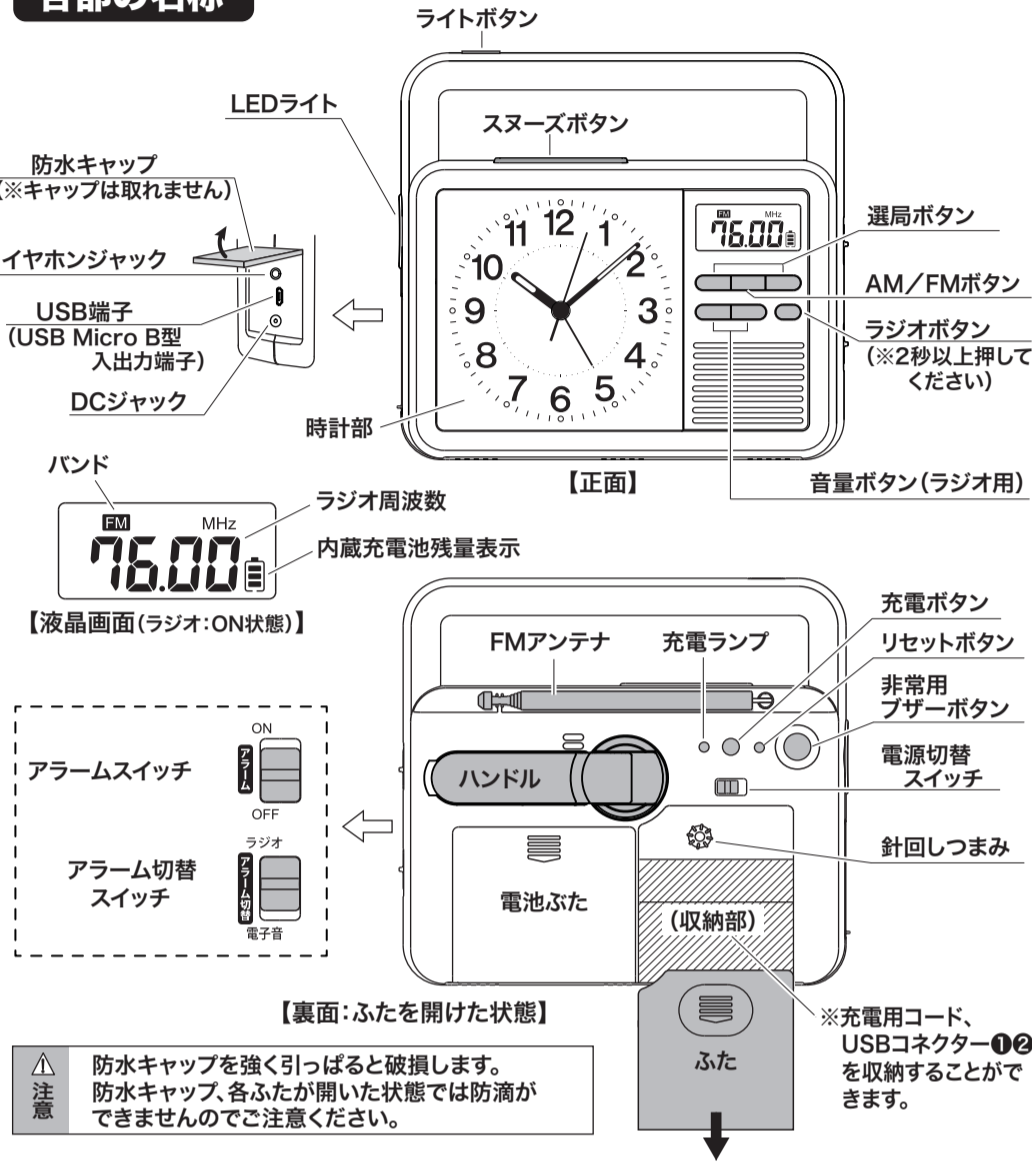
付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書(本書) 1枚 ●保証書 1枚
- ①充電用コード(USB Micro B型プラグ) 1本
- ②USBコネクター① 1個
- ③USBコネクター② 1個



各部の名称



その他の機能

LEDライトを使用する

- ①「電源切替スイッチ」で電源を[充電電池 手回し]または[乾電池]に合わせてください。
- ②「ライトボタン」を押すとLEDライトが点灯します。

注意 LEDライトを直視したり、目に向けて照らさないでください。目を傷める恐れがあり、危険です。

非常用ブザーを使用する

- ①「電源切替スイッチ」で電源を[充電電池 手回し]または[乾電池]に合わせてください。
 - ②「非常用ブザーボタン」を押すとブザーが鳴ります。もう一度押すとブザーが止まります。
- ※ 非常用ブザーの音量は調節できません。

注意 ブザーは非常に大きな音が鳴ります。
・耳の近くで使用しないでください。
・非常時以外の時に使用すると近隣の方へ迷惑になります。ご注意ください。

ラジオ(モノラル)を聴く

- ①「電源切替スイッチ」で電源を[充電電池 手回し]または[乾電池]に合わせてください。
- ②「ラジオボタン」を2秒以上押し続けてください。
 - ・液晶画面にバンド、周波数が表示されます。
 - ※ 初めてお使いの場合、FM76.00MHzにセットされています。
- ③「AM/FMボタン」でAM、FMを選択してください。
- ④「選局ボタン」の+、-を押して聞きたい放送局を選択してください。
 - ・ボタンを1回押すごとにAMは9kHzずつ、FMは0.05MHzずつ周波数が変わります。
- 1秒以上押し続けると早送りになり、受信状態の良い放送局に合わせます。(自動選局機能)
 - ・早送りの途中でもう一度押すと、早送りを停止します。
 - ※電波の受信状況が悪く受信できない場所では自動選局は自動的に停止しません。その場合「選局ボタン」を押して停止し、電波状況の良い場所に移動してください。
- ⑤「音量ボタン」の+、-を押して音量を調節してください。
 - ※ラジオを使用中に「非常用ブザーボタン」、「充電ボタン」を押すと一時的にラジオは中断します。

良い受信状態で聴くには

- AM放送の場合
本体を最も良く受信できる方向に向けてください。
- FM放送の場合
「FMアンテナ」を伸ばし、アンテナを最も良く受信できる方向に向けてください。

注意 アンテナの向きを合わせる際、アンテナの根元で指を挟まないようにご注意ください。
アンテナを動かすとき、先端部分を強く動かすと破損する場合がありますので、注意してください。

イヤホン(別売り)で聴くには

市販のステレオイヤホン(3.5mmミニプラグ)を「イヤホンジャック」に接続することでラジオを聴くことができます。(ラジオの出力はモノラルです)
※モノラルイヤホンもご使用いただけますが、音量が小さくなります。

時計部のライトについて

「スヌーズボタン」を押すと時計部のライトが点灯します。

充電電池の電池切れ予告機能について

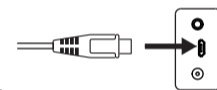
この時計には電池切れ予告機能がついています。
充電電池の残量が少なくなると「内蔵充電電池残量表示」が点滅してお知らせします。電源を内蔵充電電池で使用している場合、点滅後は約8日間時計のみが動き、ラジオ、ライト、非常用ブザーは使えません。
※充電電池の性質上、点滅を開始してからしばらくすると、消灯することがあります。

防滴仕様について

本製品はJIS IPX4規格に準じた防滴構造です。

携帯電話/スマートフォンなどへ充電する

- ① 付属の「充電用コード」のタグがない側を本体の「USB端子」に接続してください。
- ② 携帯電話/スマートフォンなどを下図の通りに接続し、「充電ボタン」を押してください。 [本体: USB端子]

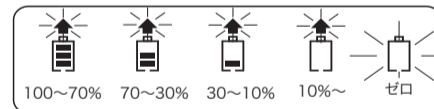


携帯電話/スマートフォンなどへの接続

USB充電対応の携帯電話、スマートフォンなどへの充電には付属の「USBコネクター②」をご使用ください。
※USBコネクター②とUSB充電対応機器をつなぐ際は、市販のUSBケーブルをご使用ください。
※USB充電対応機器によっては、付属の「充電用コード」(USB Micro B型)を接続できる機器もあります。
※入力電圧や出力プラグの形状、その他の理由で充電できない場合があります。



・約2秒後、液晶画面に「内蔵充電電池残量表示」を表示し、充電を開始します。



(液晶画面: 図のように変化します。)

- ※「内蔵充電電池残量表示」が消灯(約12秒)して充電しない場合は、それぞれ以下の操作を実施して再充電を行ってください。
- ・「内蔵充電電池残量表示」が表示されるまで充電ボタンを押し続けてください。(約5秒)
- ・コードの接続を逆に(タグ側を本体に接続)して充電を開始させてください。
- ③ 内蔵充電電池の残量がゼロの表示になると終了です。
- ④ 充電が終了しましたら「充電用コード」をはずしてください。
- ・内蔵充電電池がフル充電でも、スマートフォンに100%充電することはできません。(機種により充電量は異なります。)

＜携帯電話/スマートフォンへの充電についてのご注意＞

※ 本製品は携帯電話/スマートフォンの一部機種に対応できない場合があります。
※ 本製品はハンドルを回して直接の充電はできません。携帯電話/スマートフォンへの充電は、内蔵充電電池から行います。
※ 充電用コードはケーブル部分をつかんで、差したり抜いたりしないでください。
※ 携帯電話/スマートフォンの電池が完全に放電しきった状態では充電ができない場合があります。
※ 携帯電話/スマートフォンの電池残量が半分以上残っている場合、充電できない場合があります。これらの電池残量が半分以下になってから充電してください。
※ 携帯電話/スマートフォンの充電状態によっては充電できない場合があります。
※ 携帯電話/スマートフォンの充電状態は、携帯電話/スマートフォン側で確認してください。
※ 詳細は、弊社ホームページをご参照ください。
※ 万一、本機の使用により生じた携帯電話/スマートフォンのデータの消失、機能障害、および逸失利益または第三者からのいかなる請求に対しても、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

故障かな?と思ったときは

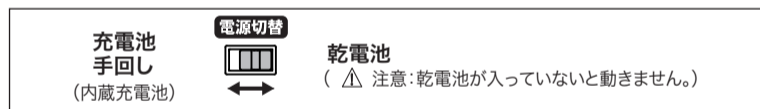
本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。
なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示が出ない	・電源切替スイッチが乾電池になっている。 ・充電電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・電源切替スイッチを充電電池 手回しにして、充電電池を充電してください。 乾電池で使用している場合は、指定の新しい乾電池に交換してください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
ラジオが鳴らない ライトが点灯しない 非常用ブザーが鳴らない	・充電電池(乾電池)の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・充電電池を充電してください。乾電池で使用している場合は、指定の新しい乾電池に交換してください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームスイッチがOFFになっている。	・アラームスイッチをONにしてください。
携帯電話/スマートフォンが充電できない	・各機種ごとの仕様による。 ・携帯電話(スマートフォン)が放電しきっている。	・充電ボタンを約5秒以上押すまたはコードを逆に充電してください。 ・完全に放電しきった携帯電話(スマートフォン)へは充電できない場合があります。

ご使用方法

1. 電源を選択する

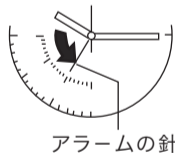
「電源切替スイッチ」で電源を選択してください。



※ACアダプターまたはUSBで接続してご使用の場合は、「電源切替スイッチ」がどちらでもお使いになれます。
※電源を切り替えた後は、必ずリセットボタンを押してください。

2. 現在時刻を合わせる

裏面のふたを開けて針回しつまみを手前に引いて回し、現在時刻に合わせてください。
(左右どちらに回しても構いません。)
合わせたあと針回しつまみを押し戻してください。



3. アラーム時刻をセットする

- 針回しつまみを押し込んだ状態で回してください。
- ・アラーム時刻を合わせるときは、アラームの針を必ず 方向(反時計まわり)に回してください。
- ・アラームはセットした時刻の約5分前から5分過ぎの間に鳴り出します。
例) 7時にセット: 6時55分~7時5分の間に鳴りだします。

重要 時計回りにアラームの針を回すと、セットした時刻より早く鳴り出すことがあります。

4. アラームを鳴らす/鳴らさない

アラームスイッチを切り替えてください。

ON	セットした時刻になるとアラームが鳴ります。
OFF	アラームは鳴りません。

5. アラーム音を選択する

アラーム切替スイッチでアラーム音を選択してください。
※電子音は音量が固定です。

6. アラームを止めるには

アラームを止めるには2通りの方法があります。

アラームを完全に止める

「アラームスイッチ」をOFFにして止めます。

数分後に再度アラームを鳴らす(スヌーズ機能)

- 「スヌーズボタン」を押すとアラームが止まり、数分後に再び鳴り出します。
- スヌーズ機能は約40分間繰り返すことができます。寝過ぎ防止にご利用ください。
- アラーム音が「ラジオ」の場合、スヌーズ機能は使えません。
- スヌーズ中はアラーム音の切替ができません。

お手入れについて

- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾かしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。